

参 考

パシフィコ横浜 国立大ホール ステンドグラス「星座'94 横浜」について

パシフィコ横浜 国立大ホールのエントランスを飾るステンドグラス「星座'94 横浜」は幅 13~19m、高さ 14m の大きさを誇り、宇宙の無限の広がり、奥行きを観るものを感じさせます。

平山郁夫画伯による原画を元に製作され、国立大ホールがオープンした 1994 年の開港記念日(6 月 2 日)に横浜上空に見える星空を、コンピューター解析して星座を配置し、壮大な星の神話、ギリシャ神話の世界を描いています。

描かれている星

天の川、乙女座、天秤座、狼座、さそり座、ヘビ・ヘビ使い座、ヘラクルス座、射手座、琴座、ワシ座、いるか座、矢座、こぎつね座、白鳥座

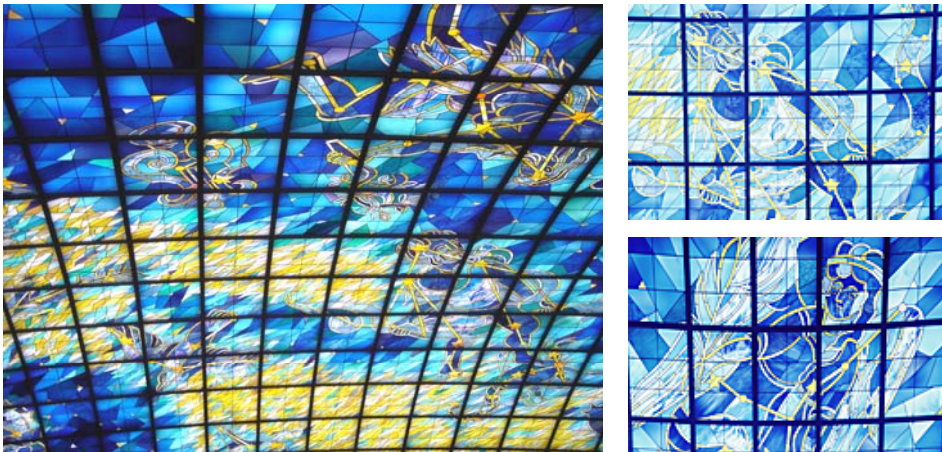
この美しいステンドグラスは、月1~2回程度、一般公開されております。

国立大ホール ステンドグラス一般開放について

パシフィコ横浜では、月1~2回程度、一般開放(無料)をしております。

一般開放予定日については、ホームページをご覧ください。

《今月の公開日》 6/11(木)、6/15(月)、6/16(火) いずれも 17:00~21:30



国立大ホールについて

我が国では 2 都市(横浜・京都)にしかない「国立」の「会議場」として建設され、「国立京都国際会館」と並び、「東日本唯一」の「国立国際会議場」です。

●名称 国立横浜国際会議場 (通称 国立大ホール)

●デザインコンセプト

二枚貝をイメージした外観となっています。エントランスロビー、マリンロビー、ホールと館内の奥に進むにつれ、海の中に入っていく気分が味わえるよう、海にまつわるデザインが随所に施されています。

① マリンロビー(面積:1,400m² 天井高:2.8~5.8m)

エントランスロビーの「砂浜」から「海」へと向かうアプローチに、「波」をイメージしたデザインが施されています。

海草をモチーフにした絨毯、ゆるやかに波打つ天井、正面に広がる港の風景、全てが印象的な美しいロビーです。

② シーサイドロビー(面積:550m²)

客船のマストのように力強く天井に伸びる白い柱、珊瑚をモチーフにした絨毯、そしてガラス越しに見える横浜港の景色。マリンロビーを抜けて客席へと進む手前にある開放感に満ちたロビーで、パシフィコ横浜で最も眺めの良い場所です。

③ 客席と階段

ホール内は「巻貝」の内部のような暖かいコーラル調の色彩が折り重なる美しいグラデーションとなっています。階段には、国内外のアーティストによる海の壁画が随所に描かれています。